

かまいせいてつしょさんじんじゃへんがく

## 釜石製鐵所山神社扁額

指定種別：市指定文化財

指 定 日：平成 24 年 11 月 28 日

所 在 地：釜石市桜木町（釜石製鐵所山神社）

制 作 年：明治 27(1894)年

寸 法：縦 74.7 cm 横 118.7 cm 厚さ 3.9 cm

銘 文：明治二十七年十一月

山神社

以大高爐初湯錢 釜石鍊山



釜石製鐵所山神社扁額は、明治 27(1894)年、釜石鉞山田中製鐵所では帝國大学工科大学教授野呂景義の指導により、日本で初めてコークスを燃料とした高炉による出銑に成功し、その初湯銑を用いて作られた扁額です。

「山神社」の揮毫は野呂の弟子で野呂とともに田中製鐵所で尽力した香村小録、「明治二十七年十一月」は機械主任の村井源兵衛、「以大高爐初湯錢 釜石鍊山」は品川白煉瓦

株式会社の技師中島宣による揮毫です。科学技術の発展上重要な意義を持つとして、平成 23(2011)年、国立科学博物館の重要科学技術史資料(未来技術遺産)に登録されました。

